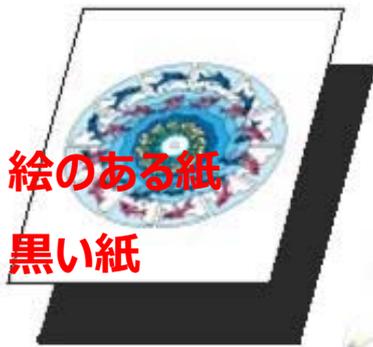


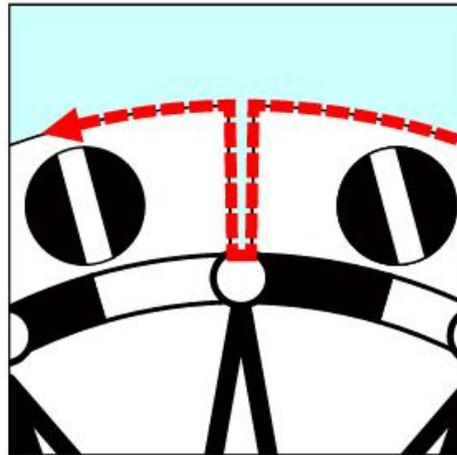
1. 回転盤を作る

① 絵のある紙

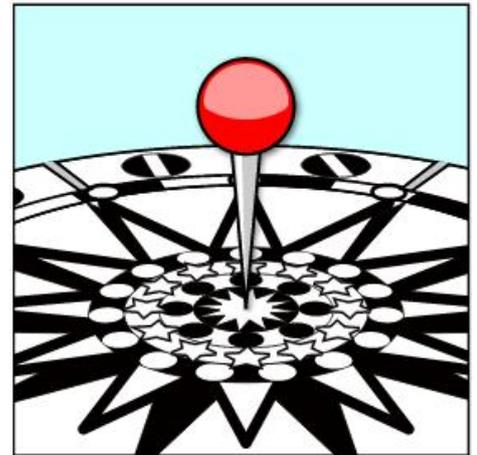
② 黒い紙



- 1) 2枚を貼り付ける
- 2) 円形に切り抜く



- 3) スリットの部分を切り取る



- 4) 中央に穴をあける

2. 支持棒を作る



- 1) 割りばしと、ゴム台（約3cm x 1.5cm）を用意する



- 2) 割りばしの端に
ゴム台を止める（のり + セロテープ）

円盤を
はさむ

- 3) このゴム台の上に、
円盤をピンで止める

《サイエンス・キーワード》

アニメーション、動画、
フェナキスティ・スコープ、驚き盤
残像現象、仮現運動、踏切の信号機



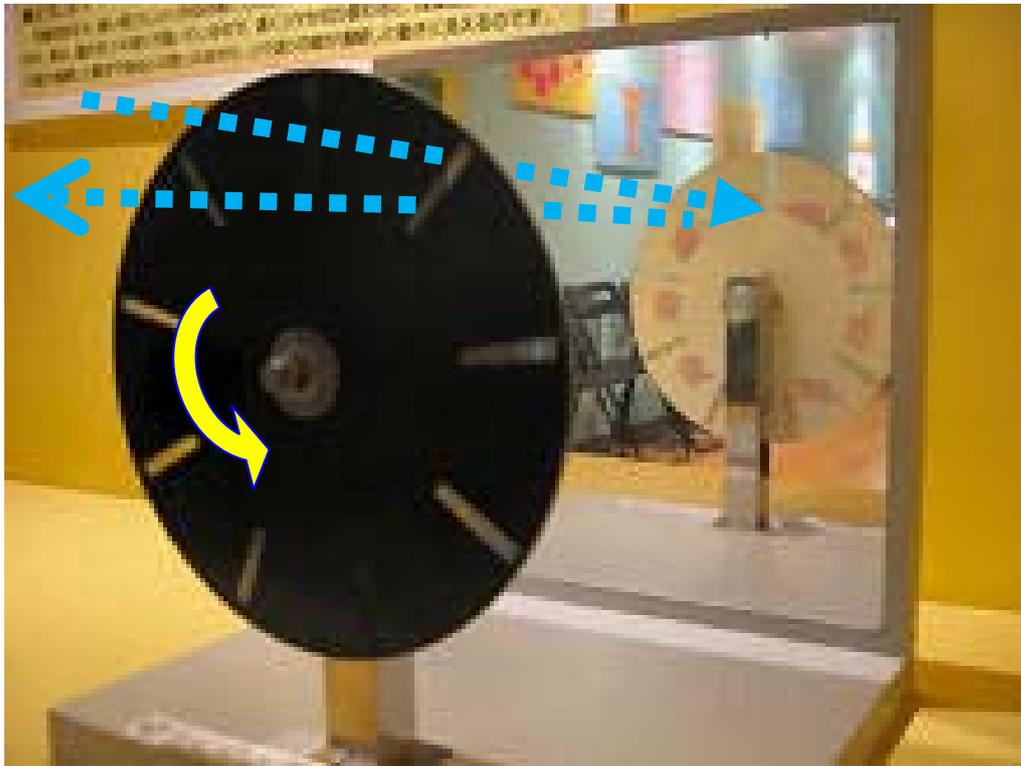
National Institution For Youth Education

独立行政法人

国立青少年教育振興機構

「子どもゆめ基金助成活動」

「フェナキスティ・スコープ」の使い方



- 1) 鏡の前で
円盤を回転させながら、
- 2) スリットの間隙から、
鏡に映った像を見ます



補足説明（１）：

「フェナキスティ・スコープ」という名称の由来は、ギリシア語からきていて、「騙す」の意味があります。眼を騙して絵が動いているように見せることから来ているようです。日本では「おどろき盤」という名前がつけられました。

補足説明（２）：

アニメーションが滑らかに動いて見えるのは、コマとコマの間を繋いでいるように見える「残像現象」によるといわれていました。しかし「残像現象」では動きを感じる理由がわかりません。そこで、動きの瞬間を捉えたコマとコマの間に仮に現れる動きがあると考えられました。どこに現れるかといえばそれは私たちの脳の中です。これを「仮現運動」と呼びます。

「仮現運動」という考え方をを使うと映画やアニメーションが動いて見える仕組みを上手く説明することができます。しかし「仮現運動」による説明が決定版かという、これもまだ研究中のようです。

【資料引用サイト】 ◎下記のサイトから図面を借用しています。ありがとうございました。

<http://oshirois.blog.fc2.com/>

<http://www.frontale.co.jp/info/2013/>